

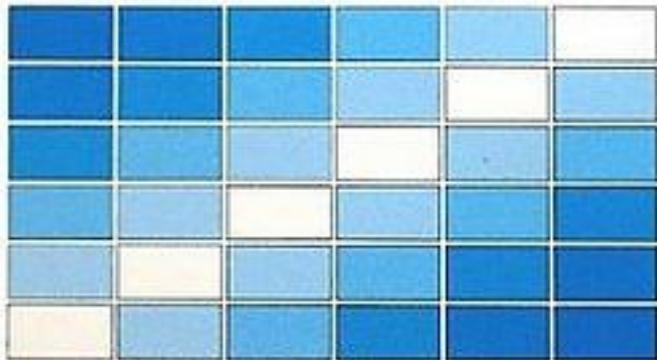
律令制研究入門

歴史学叢書

律令制研究入門

律令制は、依然として日本古代史研究の中心的課題であり、とりわけ自国律令制の比較研究は、その基礎である。1999年の天聖令の発見、2006年の公刊は、この研究に新しい段階を約束した。本書は、この新しい時点に立ち、第一部では、東アジア世界の中で日本の律令継受を位置づけ、古代官僚制の特色、漢字や医学などの文明受容、唐の礼制の継受などをとり上げ、律令制の意義を説明する。第二部では、財政史・軍事史・大宝律令などの分析視角を提示し、第三部では長大な律令制研究史を回顧し、天聖令公刊の意義について展望している。

●大津 透 編



名著刊行会

[律令制研究入門_下载链接1](#)

著者:大津透 主編

出版者:名著刊行会

出版时间:2011-12

装帧:精装

isbn:9784839003692

律令制依然是日本古代史研究的中心课题，尤其是日唐律令制的比较研究乃其基础。1999年发现、2006年公布的《天圣令》意味着新的研究阶段的到来。本书正是立足于此。在第一部分中，通过东亚世界中日本律令继受的定位、古代官僚制的特色、汉字与医学等文明的传入、唐代礼制的继受等研究，阐明律令制的意义。第二部分则提示了财政史、军事史、大宝律令等研究视角，第三部分则回顾了庞大的律令制研究史、展望了《天圣令》公布的意义。此书的执笔者皆是东京大学东洋文化研究所池田温先生为中心的研究会参与者、报告人，而此书作为2011年度科学研究费基盘研究（B）“日唐宋律令法の比較研究と《新唐令拾遺》の編纂”的阶段性成果，那是作者们献给池田温先生八十大寿的贺礼。（趙晶譯自封套）

作者介绍:

大津透

1960年東京都に生まれる。1983年東京大学文学部(国史学専修課程)卒業。1985年東京大学大学院人文科学研究科(国史学専攻)修士課程修了。1987年山梨大学教育学部講師。1990年同助教授。1997年東京大学大学院人文社会系研究科助教授。2002年~2003年ジュネーヴ大学招聘教授。2010年東京大学大学院人文社会系研究科教授(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

目录: 日本古代史をアジアの中で考える——序言にかえて 大津透

第一部 律令制の意義

“東アジア世界”における日本律令制 榎本淳一

日唐律令官僚制の比較研究 坂上康俊

律令法の継受と文明化 丸山裕美子

律令と礼制の受容 大隅清陽

第二部 律令制分析の視角

律令と古代財政史研究 武井紀子

軍防令研究の新視点 吉永匡史

律令継受の時代性 大高広和

第三部 律令制研究史

律令制研究の流れと近年の律令制比較研究 大津透

律令制研究の成果と展望 大津透

北宋天聖令の公刊とその意義——日唐律令比較研究の新段階 大津透

..... [\(收起\)](#)

[律令制研究入門_下载链接1](#)

标签

海外汉学

海外中国研究

法律史

法制

日本漢學

文献学

唐

历史

评论

重读，最喜欢的还是丸山那篇。

[律令制研究入門_下载链接1](#)

书评

[律令制研究入門_下载链接1](#)